

出展者(グループ)紹介

清野章子・森下百合香

夢中でかき続けた10年余りの歳月。その間百合香さんとはいつも一緒に。今年も又出展できる喜びに感謝、感謝です。コツコツと学び続けることの大切さ、遊び心を持つ楽しさ等々、感じて頂けたら幸いです。



若駒の会(講師 森千景)

世田谷区烏山で20名の会員が楽しんで描いています。「若駒の会」は永井重弘さんが会を立ち上げて18年。今回絵手紙フェスティバルに参加させて頂くことになり、中国の兵馬俑と縄文土偶を「カラメル絵の具」で描いてみました。古代ロマンを楽しみながら…。



橘川芳恵

絵手紙25年自由に楽しんでいます。絵手紙フェスティバル2017に初めて出品展示に参加させていただくことになりました。2016年、感動した「リオオリンピック」日本選出の若者、小さい頃から泣いて頑張ってる姿を金銀銅選出を新聞を見て描きました。ワールドカップサッカーも1パネル。よろしく。



原まりと仲間たち

わくわく・ドキドキ・うきうき・エキサイティングな教室で学ぶ楽しさを共有できる仲間が大好きです。絵手紙の数だけ幸せが増えていく。そういう絵手紙を色々な技法でモダンな絵手紙に挑戦中です。



絵手紙シールぺたんネッ人

第8回絵手紙シールのご支援ありがとうございます。岩手県大槌町「子ども夢ハウスおおつち」は町の委託事業である学童保育事業等、大きく事業展開へと発展。宮城県石巻市と大川小学校「震災遺構保存」引きつづき見守り支援をしてゆきます、今回から長期的に2016年4月熊本地震で甚大な被害を受けた熊本城の復旧、復元に小さな力で支援に協力していくことになりました。宜しくご支援下さい。



渡辺俊江・坂村典子「筆とステンシルでアナログ通信」

1枚のはがきに日々の生活や想いをのせて筆、(絵手紙花の会)新聞のちぎり絵、そして消しゴムはんこなどで遠くにいる両親、単身赴任の主人に送った絵手紙を紹介します。(渡辺)33歳で出会った絵手紙。特にステンシルにはまり、ただ今オリジナルステンシルに夢中です。添える言葉は語呂合わせで楽しんでます。(坂村)



岡本サヨ子と小野里匡笑展

絵手紙友の会で知り合い九年が過ぎました。知り合った頃から何も変わらないのは絵手紙を愛する心でしょうか。むずかしい事はわかりませんが、今は暮らしの中での大切な遊びとなり続けています。



兼岩幸恵

学びの中に楽しさを、楽しさの中に学びを見出し、私らしさを残していく。いま、このときを大切に。



林典子

「うれしいー!!私も描いていいんだー!!」絵手紙に出合った時の感動は20年経った今も変わりません。心が動くままに、いえ、もっともっと解き放って、自由な絵手紙の世界を、のびのび生きていきたいと思っています。



今井洋子絵手紙教室

岡山県では男児が誕生すると初節句に大きな張り子の寅を祝う風習があります。嬰兒の頃は怖いと泣きどうし、幼児期には上に乗って遊んだり。可愛い思い出の詰まった息子の寅も今はただの飾り物。そんな我が家の寅を囲んで、皆で速写しました。命の吹き込まれた寅は今にも飛び出しそうです。



植木啓子と板橋絵手紙会

新聞紙をこよって絵を表現し言葉を添えて発信するこより絵手紙。お教室も20年が過ぎました。私と生徒さんを繋げてくれる絵手紙はそれぞれの人生の糧となっております。それは皆さんの笑顔が物語っています。今年も楽しいこより絵手紙ご覧下さいませ。



たかし 峯 譽

月刊絵手紙で「原拓をみる」「感じる心」が連載されています。誰が作ったのか、古い時代の手作りのものには人を引き付ける魅力がいっぱい。いろいろなことを想像させてくれる。彫る、重ねる、貼る、少しの凹凸で表れる白黒の世界、材料によって、又、タンポを打つ強弱で表情が変わる。拓本もその時その時の気持ちの現れ。



鈴木榮重

般若心経は椿が似合う、サクラではまいち。ボタン、コスモス、バラ、アヤメではだめ、やっぱり椿である。心にかぶ、椿を、すきかかって描いて、ワクワクしながら般若心経を入れると安らぎ、心が静かになる。楽しくて、楽しくてしかたがない。嬉しくてしょうがない。



福間明子とカルチャー教室のみなさん

とし年齢とともに生活のテンポが緩くなってきています。このままいけば——と考えるのはやめました。成行にまかせろしかありません。「なるようになる」という好きなことば、ケセラセラを口ずさみながら。



夢追い人・がくさん

北海道在住・69歳。元陸上自衛官。「中国蘇州市絵手紙使節団員」として、2年・2度訪中し指導。「消しゴム印作り」の指導で、全国90ヵ所以上の教室を開く。「言葉印」と「絵手紙のコラボ」に工夫を重ねる。「絵手紙は郵便物」展示会が終われば、すべてポストイン・すべて送り先の「住所」が書かれて展示されます。



絵手紙とハンコのコラボ教室

江口春畝、岡本サヨ子、齋藤サダ、須賀紅翠、高津紅林、本田和郷、私たちは皆様にささえられ、六人でコラボ教室を始めました。教室では私たちの出来る事はおしまずに伝えていく事にしています。



新堂みど吏

絵が描けなくてコンプレックス。だから続けられた。ヘタで良い。そのうちに、いつかそのうちに…。墨の自由が好き。太く細く濃淡があり、難しい。もっと墨で遊べたら、気持ちをのせて、楽しみながら。



絵手紙 フェスティバル 2017

~絵手紙には十人十色の楽しみ方がある~

(前期) 2017年3月3日(金)~10日(金)

(後期) 2017年3月22日(水)~29日(水)

(時間) 10:30~17:30 ※会期中無休・入場無料

会場・主催 大崎ウエストギャラリー

2010年より2月3日の「絵手紙の日」に合わせて毎年さまざまな愛好家のみなさんにご出展いただき、開催してきた『絵手紙フェスティバル』が2017年より3月開催へ移行して新たなスタートとなります。

8回目となる2017年も、前期展・後期展の2回に、全国から34名(グループ・団体等を含む)のみなさまに出演していただきます。

これを機にひとりでも多くの方々に、絵手紙を好きになっていただけると嬉しいです。

主催者

絵手紙フェスティバルは2017年より3月へ時期を変更しての開催となります。
2月は下記の2つの特別企画展を開催いたします。

山路智恵 絵手紙展

オンBIG東京百景

日時 2017年2月1日(水)~10日(金) 10:30~17:30
※最終日16時まで

2020年東京オリンピック・パラリンピックを応援する気持ちで、畳大の大きな和紙に「東京百景」をかいています。人とのふれあいや四季の風を感じながら出会った東京。これからも絵手紙で東京の魅力を再発見しながら、歩き続けます。皆さまのお越しをお待ちしております。(山路智恵)

清水比庵展 ~ 比庵に学ぶ ~

2017年2月15日(水)~25日(土) 10:30~17:30
※最終日16時まで

短歌、書画に親しみ、歌・書・画三位一体の芸術として独自の境地を開いた清水比庵。お孫さんである固氏のご協力により貴重な作品40~50点を展示いたします。



主催者からのお願い

毎年、絵手紙フェスティバルに遠方からもたくさんのお客様にご来場いただき誠にありがとうございます。

今回も、特に平日の午前中を中心に大変な混雑が予想されます。お時間に余裕のあるかたは、お昼以降にお越しいただけますと、比較的ゆっくりとお買い物もお楽しみいただけるかと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

また、開催期間中は講習会スペースを交流会場として一般開放しております。簡単ではございますが、お飲物(セルフサービス)もご用意しております。出展者やお友達のご歓談などにご利用いただけましたら幸いです。皆様のご来場をお待ちしております。



〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-7 パークハイツ大崎 3F(JR山手線大崎駅徒歩1分)
TEL 03-3490-4177 / FAX 03-3490-3358 URL http://www.space-gallery.net

ELEGAMI FESTIVAL 2017

(前期) 2017年3月3日(金)~10日(金)

出展者(グループ)紹介

北川長一郎

2017年には絵手紙をはじめて16年目に入ります。昨年9月で長かったサラリーマン生活に終止符を打ち、否応なく高齢者の仲間入りです。人生の下り坂、絵手紙とともに残りの人生を大切に過ごしていきたいと思っています。今回はことばにこだわってみました。



日本遊印アート協会 深沢紅爐

「消しゴムはんこで世界旅行」を出版しました! 貴方の憧れの国はどこですか? 心ひかれる素敵なモチーフを思いのままに、楽しく彫ってみませんか? 夢の国へいざなってくれます!! そして小さな印の無限の世界が展開されます。自由を合言葉に現代の芸術印を追求しています。



中井桂子

「絵手紙 墨絵奈良」の本の中に、肉筆画を入れた。一ヶ月に3000枚かいた。かいてもかいてもこれでいいというものはない事を実感する。しかし筆が勝手に動くというか、無心にかいている自分がいた。それだけで充分なのじゃないかとも思えた。何か夢中になれるものがあるっていいですね。奈良の仏像と風景に感謝です。



岡田教室 月曜クラス

形いろいろ、味もいろいろ。家庭菜園の野菜のような私たち愉快な仲間、緊張と笑いの中で線に、色に、ことばにと愛のムチとアメに一喜一憂しつつ貴重な時を刻んでいます。時には野外で、又、ある時は旅に出て自然に囲まれてのスケッチを楽しんだり「明日の自分」を求め、夢を描いています。



柿沼佑子と仲間たち

段ボールに山のカボチャ、焼酎の空箱がドサッと「何か利用できますか」と。今では私の教室にはこの言葉が存在している。墨と紙があればどこでもかける、をモットーにしている私。即実践。それがこのカボチャ、残り半分の紙パックは後日蓮田文化財展示館に行き土器を描く。挑戦する楽しさ、土の温もりを感じとってくれたら嬉しいです。



「田口孝夫&宇治・伊勢の仲間たち」

田口先生の取り持つご縁で宇治3人・伊勢3人の絵手紙リレーがスタート。途中から田口先生も参加!7人の笑いあり、発見あり、感動ありの珍交流。小さなハガキから始まったリレーもいつの間にか大きな大きな巻紙に!!ドサッとたまった100通から一部をご紹介!クスッと笑って、温かい気持ちで見れば嬉しいです。



浅田美知子

筆に導かれ、筆に育てられ、筆のおかげで素敵なお縁をいただいて、気が付くといつしか筆が友となり、暮らしの中で欠かせないものとなりました。ですので、筆に誠実であらねばならないと思うのです。少しでもよい生き方につながるように。



大野喜代子&鈴木啓子&渡辺美恵子

J R宇都宮線・矢板駅に絵手紙を展示して一年になります。四季感を小さな待合室に置いています。「矢板駅でみたよ」と言っていたけると嬉しいです。



地球・絵手紙ネットグループ

お正月になると、私など、子供の頃は、大人を入れこんで、いろはカルタ取りを遊びました。今回の出展させて頂く事に際しては、自画像を、それぞれに描いて、メッセージの文章をカードに書き、読み札として、絵手紙を作成しました。展示が終了しましたら出展者は「自画像カルタ取り」を楽しみにしたいと思います。



荻窪絵手紙の会(主宰・浅倉須眞子)

荻窪で学び合う2つのグループのメンバーが合同で参加させて頂きます。いにしへの美女と呼ばれる「縄文のビーナス」を各自の感性で描いてみました。



桜井幸子

絵手紙と出合って30年。当初は、何を見ても絵手紙のモチーフに結びつけていた。そのうちに円空仏と出合って追っかけが始まった。彫刻として追いかけているうちに、円空さんの祈りを感じるようになった。それをどう表現すればよいのか迷い続けているが、好きなモチーフと対峙できる喜びは、何にもかえがたいと思っている。



熊日絵手紙教室・宇城市 松橋教室(代表 田崎弘子)

今回、2つのグループで参加致します。熊本地震から10ヶ月。皆様の励ましのお便りに感謝しています。「春よ春」いい事探しの旅に出たくて参加致しました。



松尾ちえ子と中野のなかまたち

中野区北部にある哲学堂公園は明治37年(1904年)東洋大学創立者・井上円了によって「哲学をテーマにした精神修養」をコンセプトにつくられた自然豊かな公園。2009年東京都の名勝指定をうけ、112年たった今や都民の憩の場に。100年間変わらぬ中野と再開発で目まぐるしく発展する中野の両面をスケッチでご紹介。



宮脇泰彦

皆様こんにちは! 絵手紙始めて22年目を迎えました。昨年より『全国タオル筆で描く絵手紙コンクール』が泉佐野市主催で再開。4月には「大崎ウエストギャラリー」にて展示して頂きます。タオル筆は描きやすく自分で簡単に作ることができますのでお楽しみください。



沖紅千

絵手紙に落款印を押したくて始めた消しゴム印です。今は遊印と言葉をコラボさせ絵手紙にして楽しんでいます。毎年「You印・オシャレな絵手紙」を大崎で開催して6回となりました。どんな技法の絵手紙にしようかと今からワクワクしています。今回の作品はエーゲ海をイメージしてギリシャ模様を彫ってみました。



徳勝弘江

瓦當や画像磚を筆でかくだけでなく拓をとったような表現がたくて紙版画を始めました。ハガキにも大きな紙にも楽しんでいます。



金子洋子

絵手紙という大きな括りは私の日常生活の大半の位置にあります。本物を見ると心が喜び、かいている時は楽しく、共に語り、学び、交流し、極上の時を過ごしてきました。嬉しさのあまりほとんど心の内を書いています。絵手紙は素の自分に出会える瞬間でした。これからも楽しさの奥を見つめながら筆墨に親しみたいとおもいます。

